

●景観条例の改正提案

Q.

表記に関して、条例改正結果について問い合わせ、結果を主管課からいただきました。それも催促してようやくいただきました。いただいた内容と私の見解は次のとおりです。これを読んで気が付きました。これが議論された会議は景観を守ろうとする人たちの意見であり、新発田の将来を総合的に判断する人たちの意見ではありません。失礼ですが、年齢的にも高い人たちのご意見かと思います。

人口減少が進み、高齢化も進み、経済が縮小化する中で（これは日本全国同じですが）、最重要課題は、若い人が住みやすい、経済が活性化する街づくりだと思います。そのためにはできるだけ規制のない街づくりが必要だと思います。主管課の意見ではなく市長の見解をお聞かせ願います。

景観に関して言えば、私の住んでいるこの通りに関しては緩和してもまったく影響はないと思います。どうして緩和しないのか理解できません。

条例での意見と私の見解

- ・景観計画の策定から 10 年以上経過しており、これまでに制限を受けて建てられた建築物は市内に数多くある。制限に適合した形式としていただいた所有者の方々からしたら不公平感がある。

→これは、理由になっていない。これを言い出したら制度、条例、法令等の変更はできないことになる。

- ・勾配屋根にしても意味がないのではないかという考えもあるが、60 年後 70 年後を見据えた景観の制限が必要であると思う。長い目で見れば景観計画を変更するべきではない。

→正直、60-70 年後には景観よりも人口減による経済の縮小、地球温暖化に伴う気候の変動により景観のプライオリティは低くなると私は考えます。その時、今景観条例に携わっているメンバーはすでにいないと思います

- ・景観条例を制定する際に私的財産に制限をかけることから、せめて色彩と形態意匠に絞り、緩やかな制限にしたと思う。これまでこの制限内容で運用しているので、財産をもつ方に配慮できた条例ということで制定しているので、何かあったら特例とするのではなく、それに対してアドバイスをする制度もあるので、このままの計画で進めるべきである。

→意味不明

- ・長い年月を見据えた景観形成のための制限が必要であると思うことから、変更すべきでない。

→意味不明

- ・太陽光発電設備の設置方法は様々あり、陸屋根でなくても現在の条例に適合できる形もあると思う。

→家を作る場合、太陽光が最優先ではなく、価格、デザイン、機能等のほうが優先され

るのが一般的であり、自分の選択した住宅メーカー、建築会社での家屋に対しての設備設置となるのが一般的だと考える。このため、制限があると自由な選択の妨げとなる。

(令和7年2月受付)

A.

令和4年に景観計画や景観条例の見直しに関する市長への手紙を頂戴した件について、景観審議会等の意見聴取の結果をお伝えしておらず、ご不快な思いをさせていただきましたことをまずもって深くお詫びを申し上げます。

担当課に確認したところ、いただいたご意見を審議するため、景観審議会を開催するとともに、景観アドバイザーからも意見聴取を行った結果、景観計画の見直しを行わず現計画のまま進めることとなったことから、説明することを失念してしまったとのことであり、今後このようなことがないように担当課長を通じて厳重に注意いたしました。

景観計画及び景観条例の策定にあたり、学識経験者や規制対象地域にお住いの方などから意見を聴取し、新発田城の城郭の区域、寺社が立ち並ぶ寺町区域、そしてその周辺の旧町割りの区域は、城下町のたたずまいを保全すべき景観上重要な地域であることから、これらの区域を「歴史景観エリア」に設定したところであります。また、景観形成において「屋根形状」は重要な要素であり、街全体の雰囲気や魅力を大きく左右するものであります。切妻屋根や入母屋屋根などの伝統的な形状は歴史的なたたずまいを色濃く残すものであり、歴史ある城下町らしい街並みを形成するうえで必要不可欠な規制であるとの意見を尊重し、屋根形状を規制することとしたものであります。

先ほどお答えしたとおり、景観審議会及び景観アドバイザーにご意見を伺った結果、景観形成は長期にわたり継続して取り組む必要があり、現計画のまま進めるべきとの意見を頂戴したことから、屋根形状の規制を含む景観計画及び景観条例の改正は行わないことといたしました。〇〇様のお考え、お気持ちは拝察しておりますが、現時点でご提案にお応えできないことをご理解いただきますようお願いいたします。

太陽光発電設備については、景観を損ねるとの意見もありますが、近年、環境への配慮と持続可能なエネルギー利用が益々重要視されている中、太陽光発電設備の設置が広がっていることも事実であります。また、新発田らしいまちなみ景観を保つための取組も大切であることから、この二つの要素をうまく調和させることが重要であると感じております。太陽光発電設備は、年々最新の技術が開発され、周辺景観に調和したデザインや形状の設備も増えてきております。〇〇様におかれましても太陽光発電設備の設置をご検討頂く際には、専門家による景観アドバイザー相談会を定期開催しておりますので、是非、ご利用ください。

若者が住みやすく経済が活性化する街づくりの重要性は十分理解しておりますが、歴史的な街並みや歴史的資源を次世代へ継承することも市の魅力創造のためには必要不可欠です。引き続き、地域の魅力を向上させる取組を継続して参りたいと考えておりますので、何卒ご理解賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

(令和7年2月21日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。